

環境調査結果のお知らせ

平成27年7月6日午前、宇佐漁港周辺のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

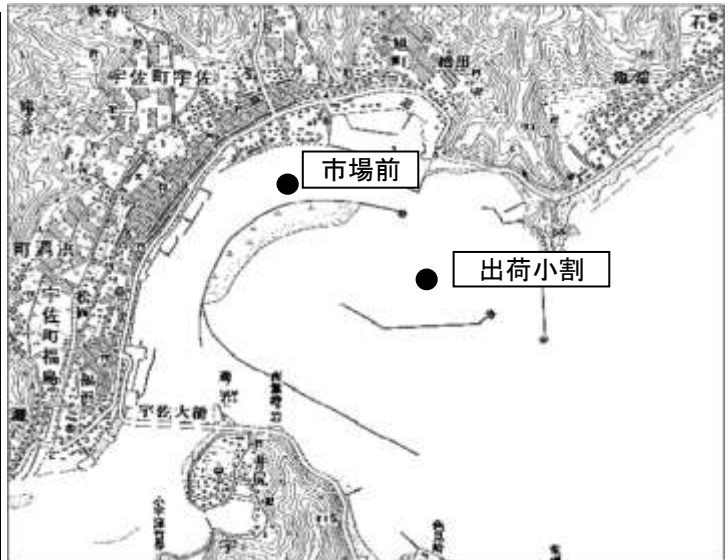
採水サンプルを検鏡した結果、有害種のカレニア・ミキモトイとシャットネラ属が認められましたが、今回はどちらも被害が想定される細胞密度を下回っていました。

しかし、浦ノ内湾内にはカレニア・ミキモトイの細胞密度が被害の想定されるレベルの観測点があり、潮汐や風によって宇佐漁港周辺にも漂着する可能性があります。慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ミキモトイ	シャットネラ属
市場前	0m	0	0
	2m	8	0
	5m	3	1
出荷小割	0m	1	0
	2m	2	0
	5m	4	2
(参考) 浦ノ内中学前	0m	0	0
	2m	2,475	3
	5m	31	0
(参考) 大鹿	0m	6	0
	2m	400	2
	5m	10	0
(参考) 水試小割前	0m	0	0
	2m	44	1
	5m	1	0



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ:
数百～5,000cells/ml(魚類などのへい死)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)